2017年12月期 第2四半期決算説明会



本日ご説明する内容

2017年12月期 第2四半期決算

■ 概要説明 代表取締役社長

柳 弘之

■ 事業別説明

取締役

日高 祥博

● 業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき 当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化 により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、 主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

概要説明

上期実績

<u>増収(106%)、増益(営業利益126%・当期純利益188%)、</u> 過去最高益・利益率を達成。

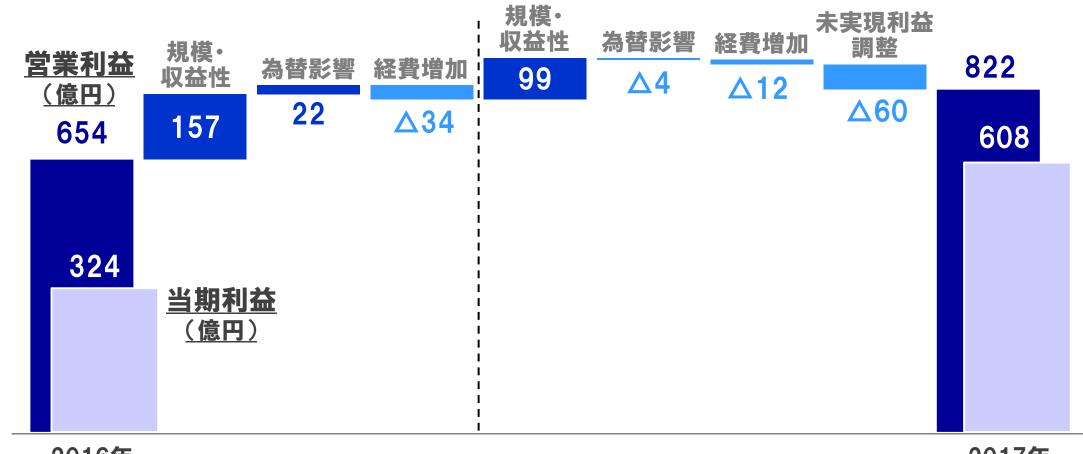
(億円)	2016年	2017年	前年比	
売上高	7,783	8,281	106%	
営業利益	654	822	126%	
営業利益率	8.4%	9.9%	+1.5pts.	
経常利益	553	835	151%	
当期純利益 ※	324	608	188%	
(\$•€)	112·125	112.122	_	
(\$/IDR·BR\$)	13,377.3.7	13,131•3.1		

経営業績(2017年)

上期実績:営業利益変動要因

収益性改善進むが、未実現利益の影響残る。

新興国二輪車 310億円(前年比 +145億円) <u>先進国事業等</u> 512億円(前年比 +24億円)



2016年 (\$/€: 112/125) 2017年 (112/122)

年間予想

増収(108%)、増益(営業利益124%・当期純利益143%)。 営業利益は最高水準へ、当期利益は最高を達成見込み。

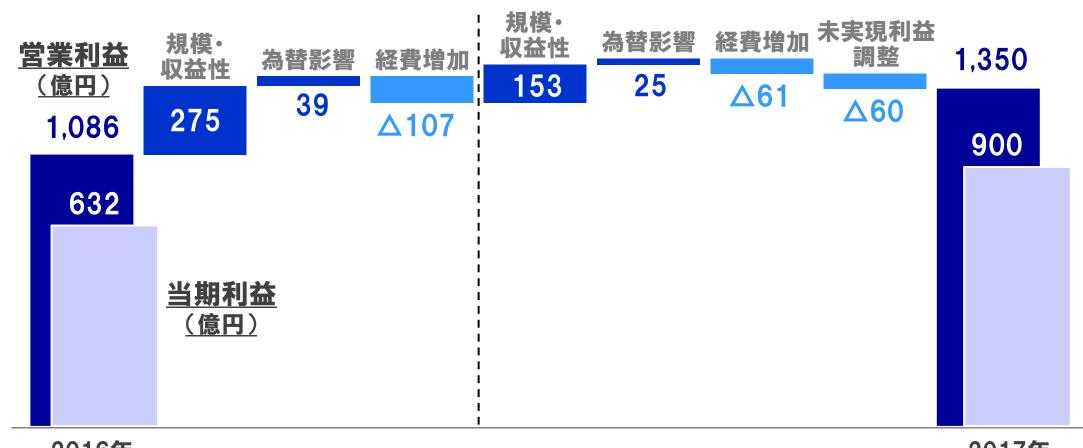
(億円)	2016年 実績	2017年 当初予想	2017年 修正予想	前年比
売上高	15,028	16,000	16,300	108%
営業利益	1,086	1,200	1,350	124%
営業利益率	7.2%	7.5%	8.3%	+1.1 pts.
経常利益	1,021	1,200	1,350	132%
当期純利益 ※	632	750	900	143%
(\$•€)	109·120	110.115	(年間)111·118 (下期)110·115	_
(\$/IDR·BR\$)	13,300 • 3.5	13,200.3.2	(年間)13,200·3.2 (下期)13,200·3.2	_

経営業績(2017年)

年間予想:営業利益変動要因

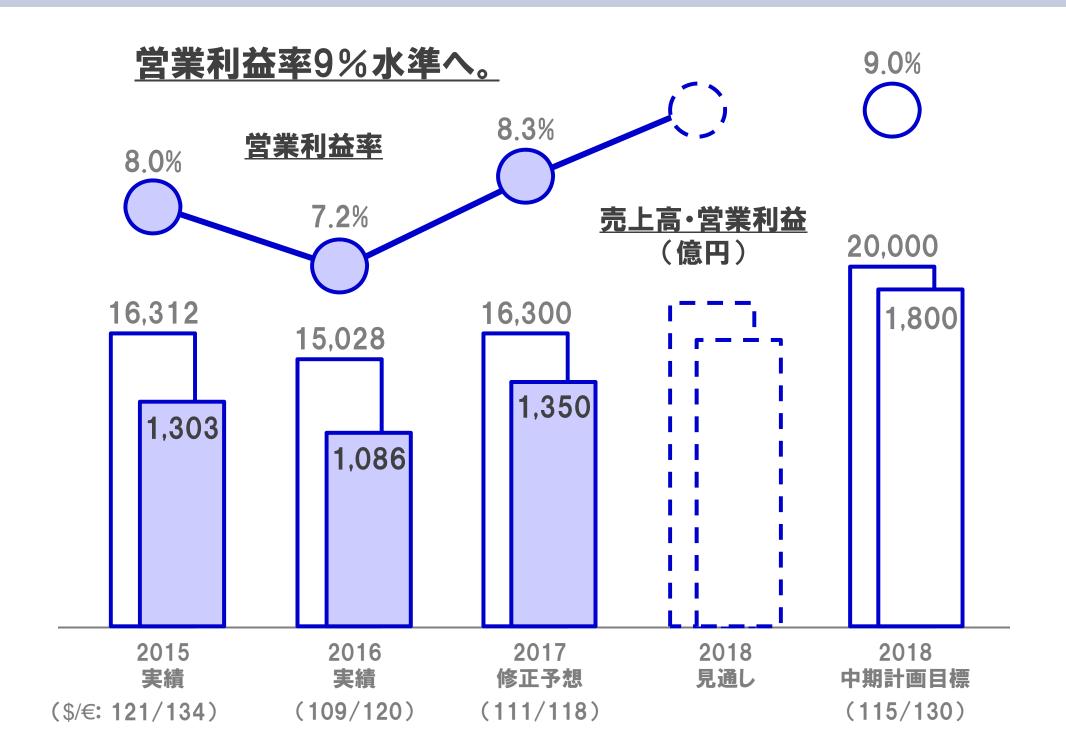
収益性改善進む。

<u>新興国二輪車</u> <u>先進国事業等</u> 665億円(前年比 +207億円) 685億円(前年比 +57億円)



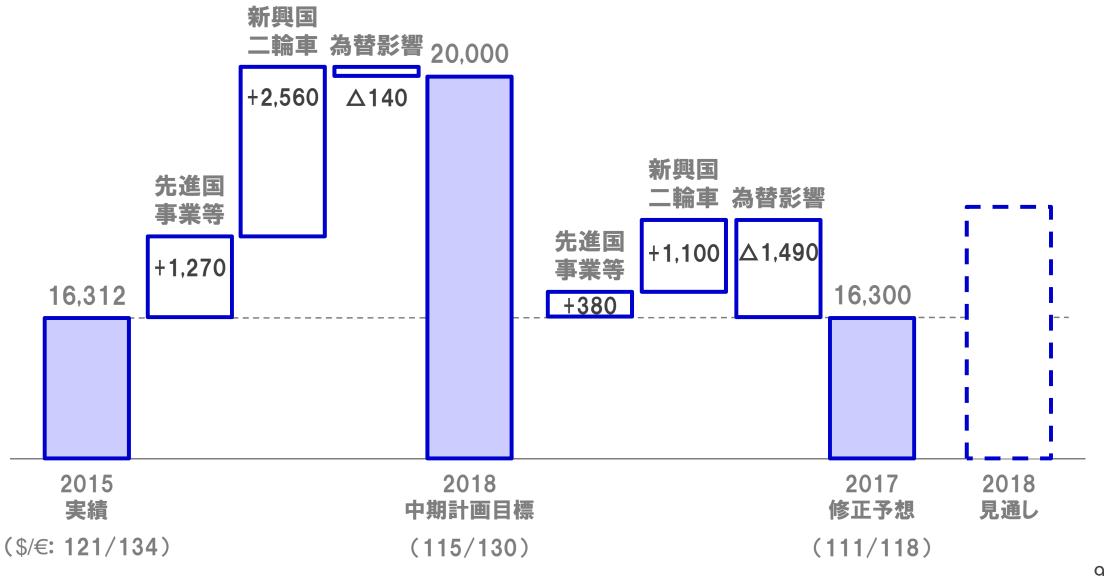
2016年 (\$/€: 109/120) 2017年 (111/118)

経営業績概況



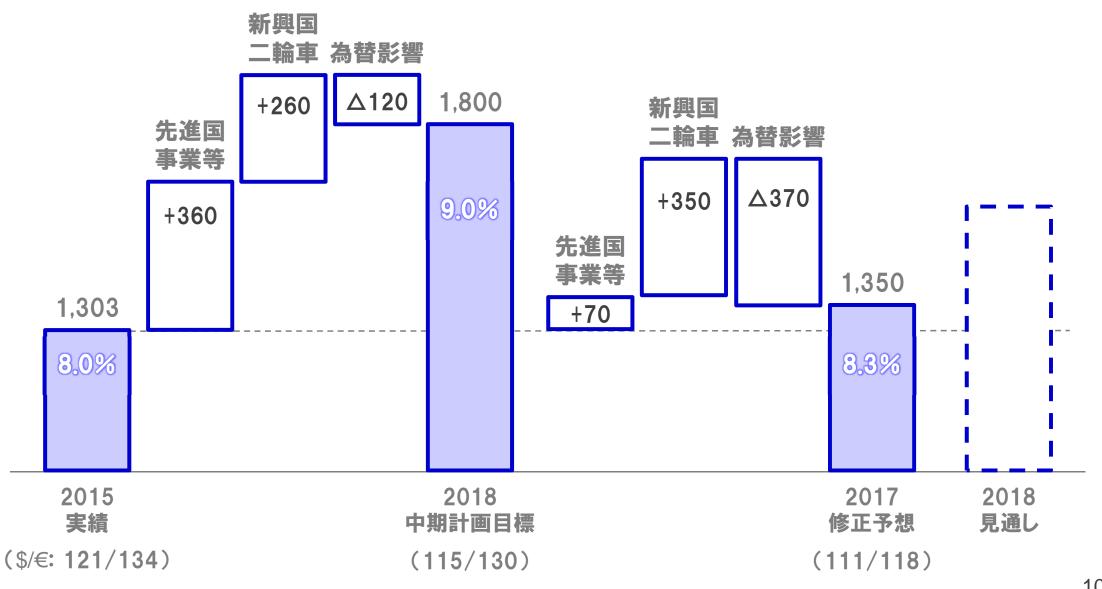
売上高の進捗状況

【先進国事業等】 二輪車・マリン・IMは計画範囲内で増加、RVは大幅な計画遅れで減少。 【新興国二輪車】ベトナム・フィリピン・タイは計画以上に増加、インド、インドネシアは計画遅れ。



営業利益の進捗状況

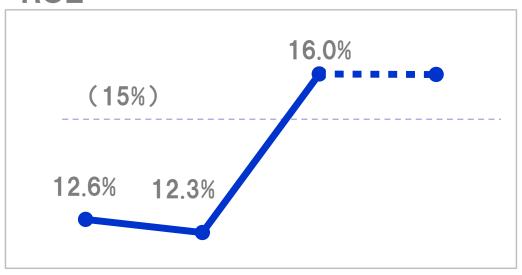
【先進国事業等】 二輪車・マリン・IMは計画範囲内で増加、RVは大幅な計画遅れで減少。 【新興国二輪車】アセアンは計画以上に増加、ブラジルは構造改革進み計画以上に増加。



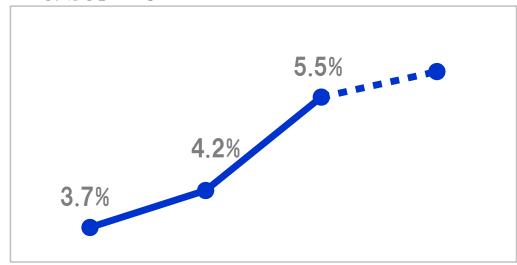
ROE 経営

自己資本を高めながら、ROE15%水準へ。

ROE



当期利益率



総資産回転率

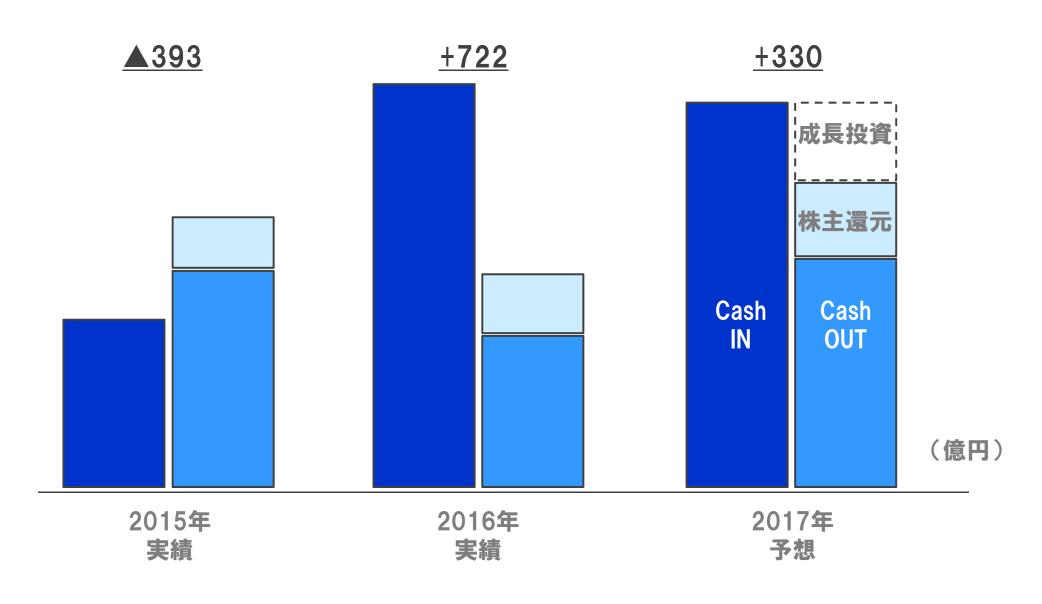


自己資本(億円)・自己資本比率



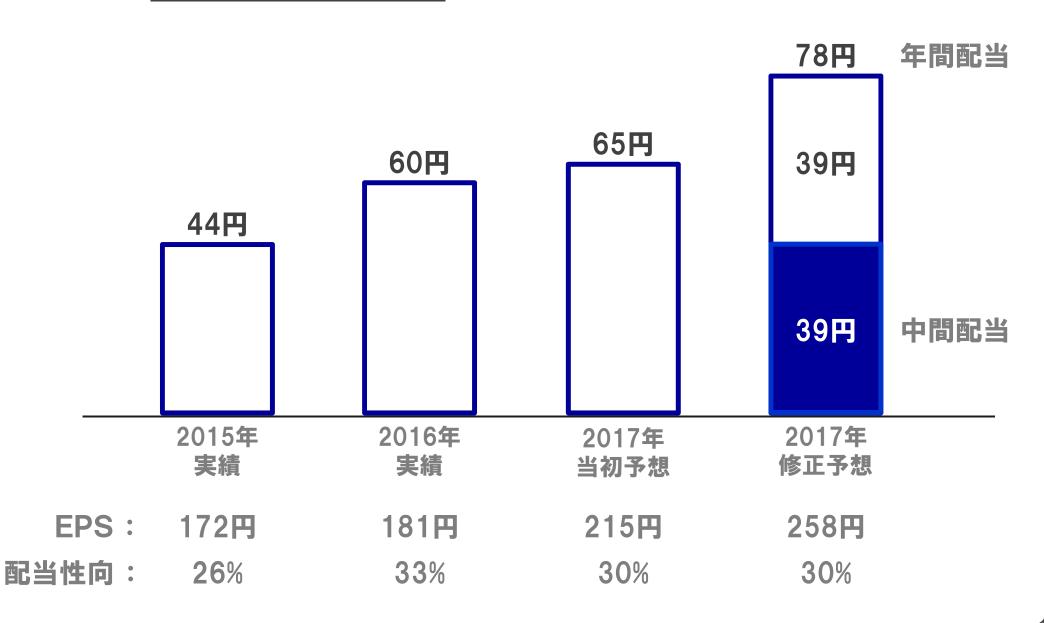
CF 経営

積極的な株主還元・成長投資に備える。



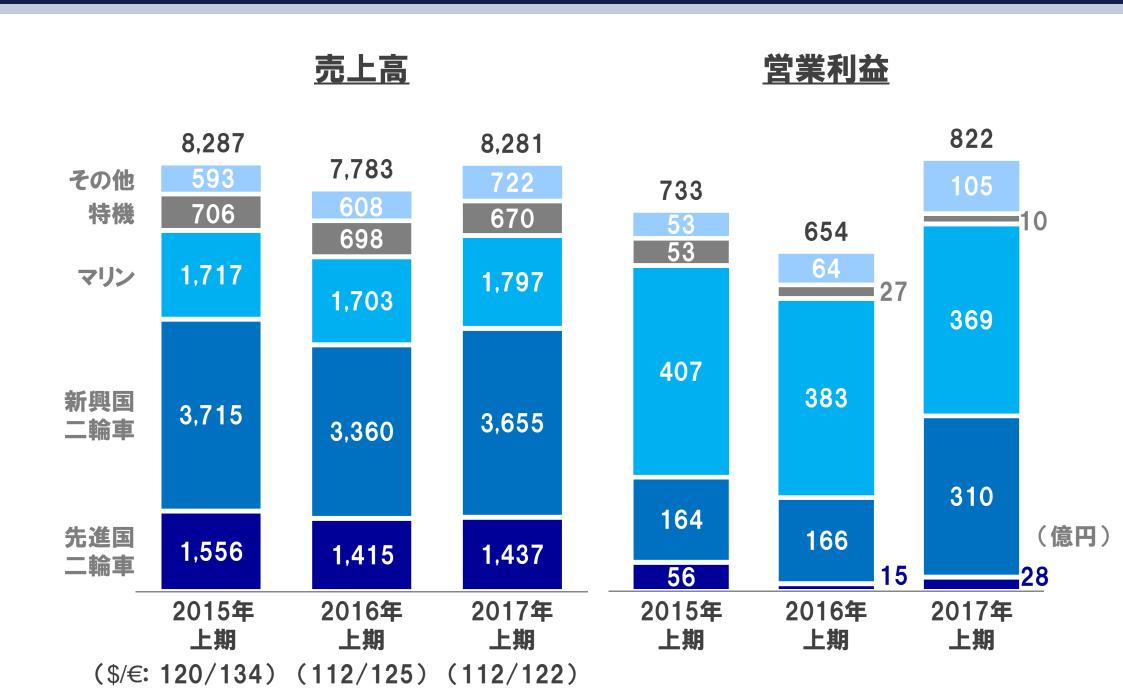
株主還元

5期連続の増配へ。



事業別説明

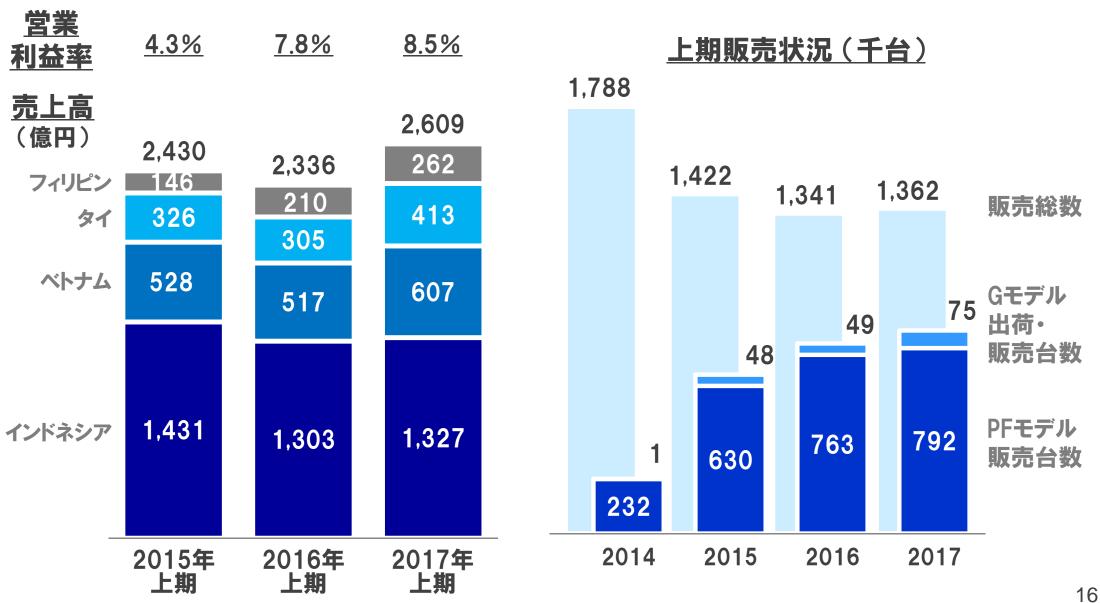
上期事業状況



その他:産業用機械・ロボット含む

アセアン

プラットフォームモデルによる新しい価値提案・収益性改善を進めながら、 インドネシア市場の販売回復に取り組む。



アセアンの『旬』を創る



QBIX



(空冷125CC)

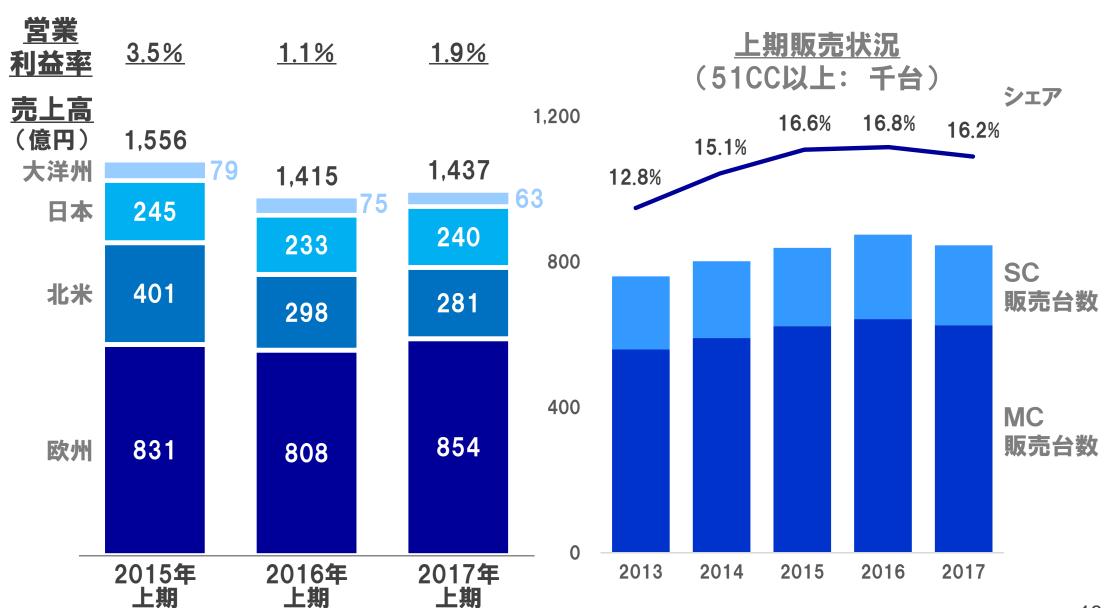




(水冷155CC)

先進国

ブランド個性を発揮する商品・マーケティングを展開しながら、 事業構造の改革を続ける。



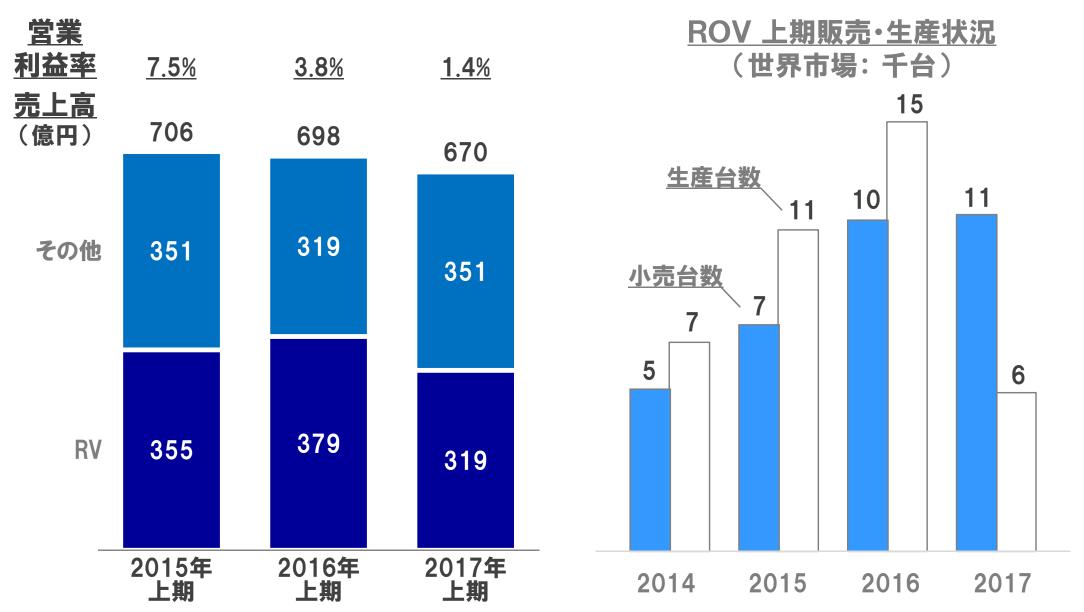
マリン事業

総合力・信頼性・ネットワークによるブランド力を更に高めながら、 システム・サプライヤーを実現するビジネスモデルへ。



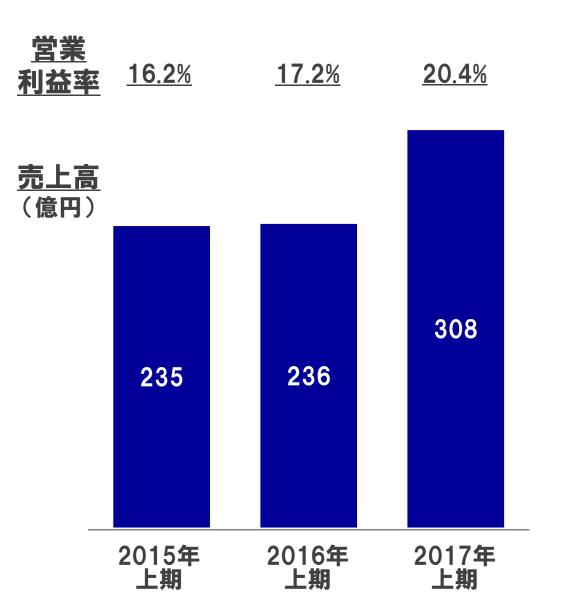
特機事業

事業正常化を完了して、新しいプラットフォームモデルによる 顧客ベース拡大を図る。



IM事業

業界トップクラスの「超高速・高精度」ピック&プレース技術、 業界初の統合型FA技術を進化させ、高効率ソリューションを提供する。



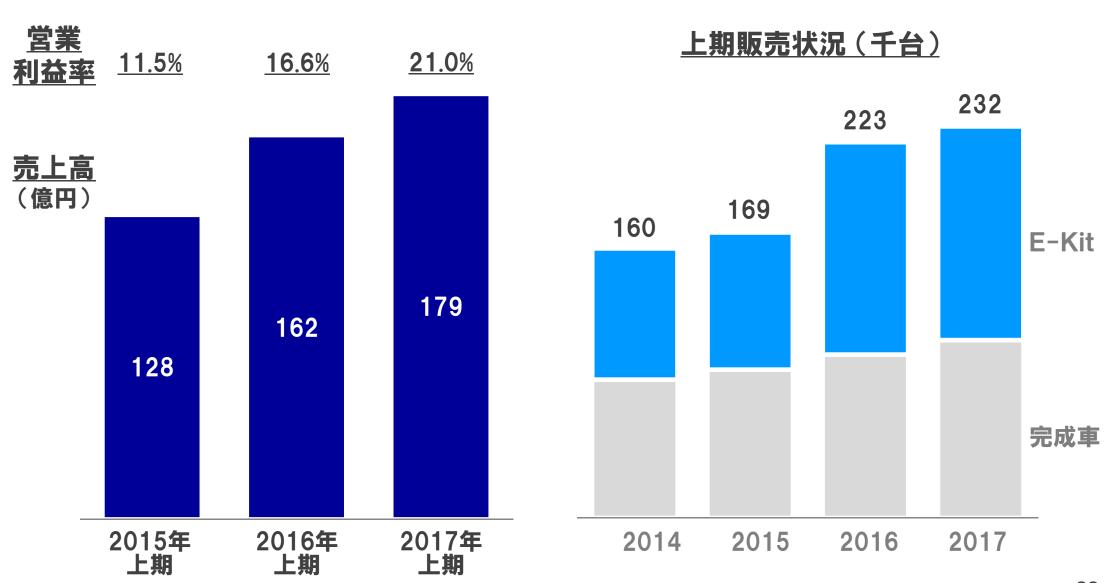




メディカル市場 ソリューション提供

PAS事業

PAS技術を進化させながら、国内・海外で幅広いソリューションを提供する。



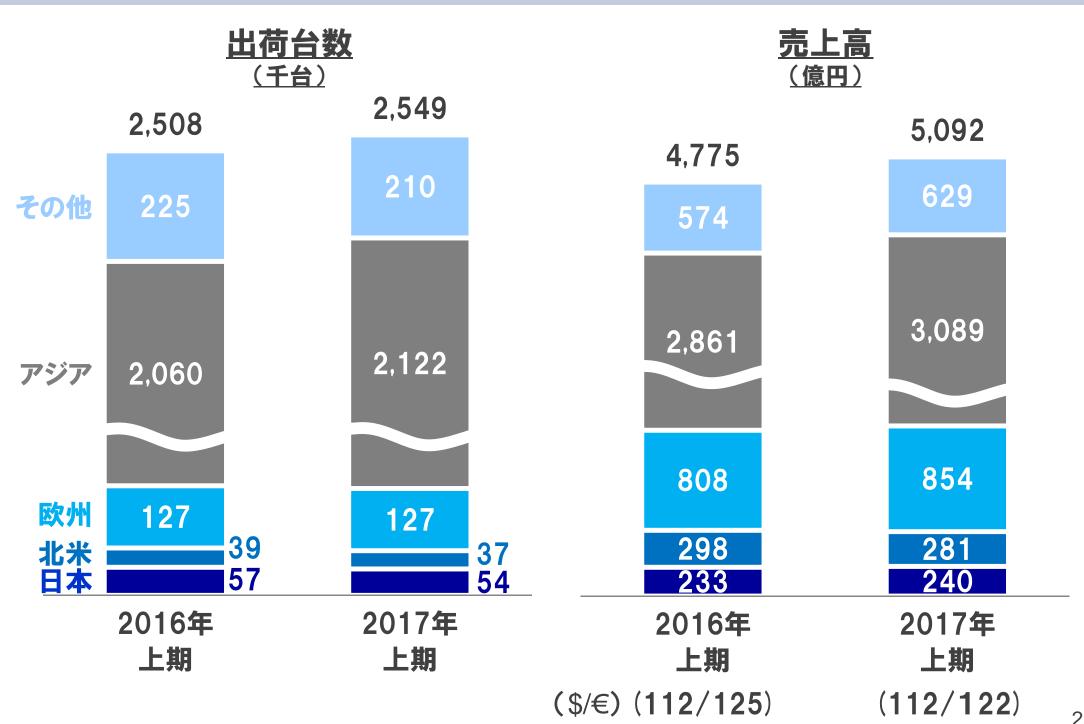


主要商品別 総需要・当社出荷台数

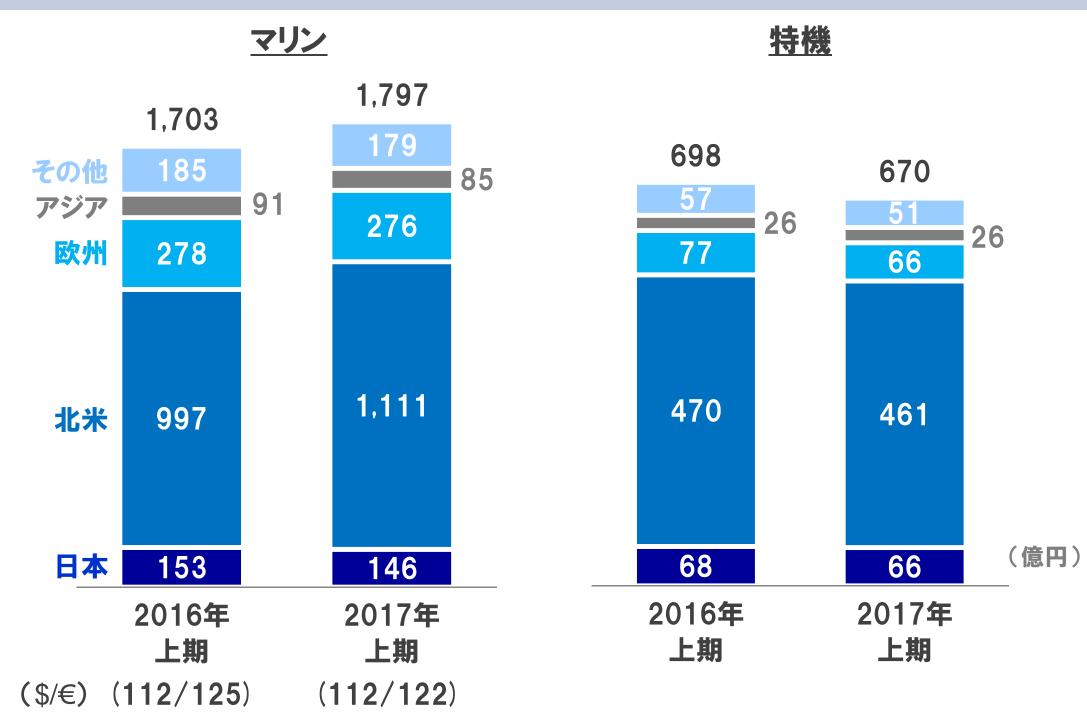
台数単位:千台

	総需要(当社推定)				ヤマハ発動機 出荷台数			
	15年 実績	16年 実績	17年 予想		15年 実績	16年 実績	17年 予想	
日本	407	373	375	日本	110	110	101	
北米	559	547	540	北米	89	77	76	
欧州	1,525	1,576	1,576	欧州	209	208	208	
インドネシア	6,465	5,557	5,400	インドネシア	1,799	1,394	1,500	
タイ	1,677	1,743	1,800	タイ	225	240	306	
インド	16,089	17,641	18,723	インド	595	786	888	
ベトナム	2,849	3,120	3,300	ベトナム	719	844	950	
台湾	706	852	880	台湾	226	254	291	
中国	9,080	7,992	7,641	中国	307	247	248	
その他	4,070	4,822	5,580	その他	415	540	671	
アジア計	40,937	41,728	43,325	アジア計	4,286	4,307	4,855	
ブラジル	1,208	884	848	ブラジル	131	100	107	
その他	8,000	6,666	6,460	その他	393	353	356	
その他計	9,209	7,550	7,307	その他計	524	452	463	
二輪車計	52,637	51,774	53,123	二輪車計	5,218	5,154	5,703	
船外機	742	717	775	船外機	300	292	295	
ATV	435	412	399	ATV	55	57	56	

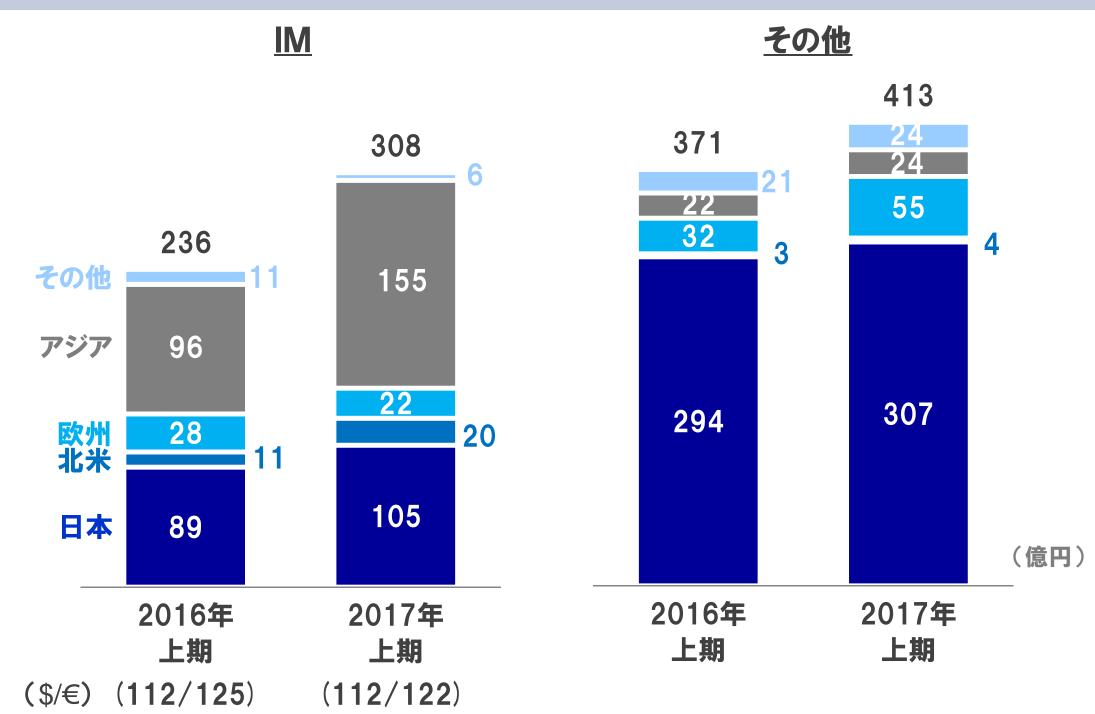
二輪車販売台数・売上高(上期)



マリン・特機・その他 売上高(上期)



IM·その他 売上高(上期)



設備投資·減価償却費·研究開発費·有利子負債

(億円)

	16年上期 実績	17年上期 実績
設備投資	228	219
減価償却費	213	224
研究開発費	470	477
有利子負債	3,409	3,749
(うち販売金融分)	1,854	2,325

為替影響(対前年)

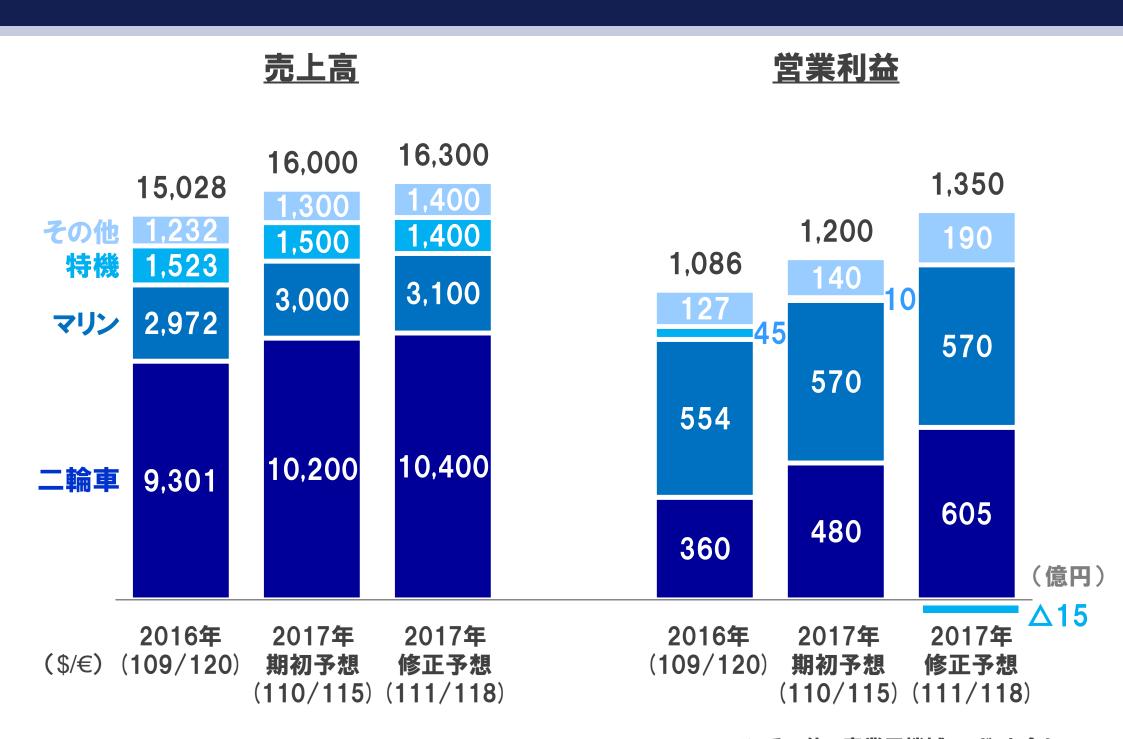
	17年 実績(上期)				17年予想(年間)				
(億円)	US\$	EURO	その他	合計	US\$	EURO	その他	合計	
本社の輸出入にかかる為替影響	4	Δ17	9	△4	30	△19	13	23	
為替による仕入影響(海外子会社)	0	0	16	16	0	0	20	20	
粗利益の換算影響(海外子会社)	3	Δ4	23	22	13	△5	56	64	
販管費の換算影響(海外子会社)	Δ2	3	Δ17	△16	Δ12	5	△36	△44	
営業利益への為替影響	4	△18	31	18	31	△20	52	64	

為替感応度 1円の変動が営業利益 に与える影響額

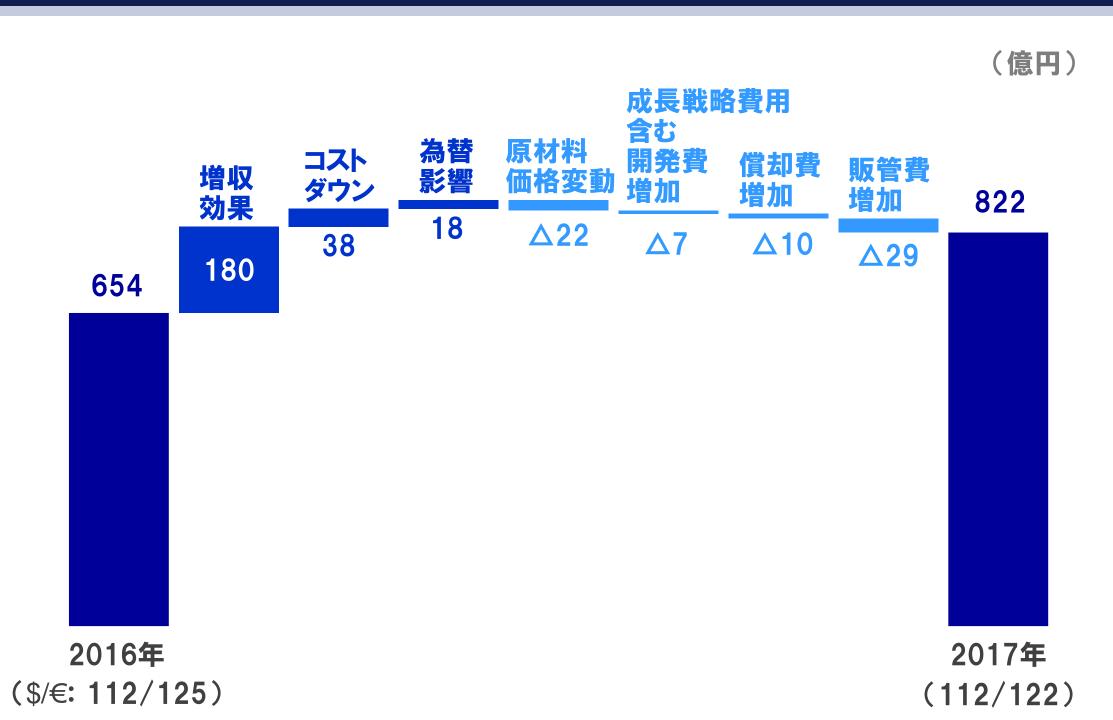
US\$ EURO **7億円 3億円**

US\$ EURO **14億円 8億円**

事業別 売上高・営業利益(年間予想)



営業利益変動要因(上期)



営業利益変動要因(年間予想)

